

あるいて比也野

比也野里まちづくり委員会 広報部発行

合併問題講演会に百六十五名が参加

「住民が納得できる話し合い」が大切

六月二十一日、鹿野町公民館で「私たちの暮らしから見た合併問題」講演会を開催したところ、比延地区から百六十五名に及び住民の方に参加いただきました。

講師の神戸新聞調査研究資料室長・松本誠氏より、合併についての県下の状況、何故国は合併を急いでいるのか、そして合併問題を考えるにあり、

一、どのような地域社会を作るのかを地域で話し合う
二、情報を提供され、住民が納得できる話し合いをする
三、住民の意思が議会に反映されるようにする
ことが大切で、ほとんどの住民が合併問題を知らない状況では、もつと時間をかけて考えることが必要である、と講演していただきました。



スリランカ青春奮闘記

Vol.7 報告者 順子 報告者 順子

比也野里のみなさん、こんにちは。日本は今梅雨の時期だと思えますが、こちらスリランカも雨季で毎日のように雨が降っています。日本のように、一日中しとしと降るのではなく、ざーっと降って、すぐにからりと晴れます。

先日、スリランカに来て二度目の誕生日を迎えました。

誕生日は日本語クラスの学生がささやかなパーティを開いてくれて、手作りのプレゼントやカードをたくさんくれました。

実は五月初めに一年ちよつと住んだ学校の教員住宅を出て、下宿住まいを始めたんですが、大家の息子の誕生日も先日ありました。五歳の誕生日です。こちらでは誕生日を迎えた本人がみんなに「ごちそうしたり、プレゼントをあげたりするそうです。息子は幼稚園に通っているのですが、幼稚園児八五人分のプレゼントを二、三日前からお母さんが準備していました。一人分ずつ、かわいいお皿に折り紙で作った箱をのせ、その中にチョコレートなどのお菓子をに入れていきました。折り紙は

私が教えてあげました。そして大きな時計の形のケーキを焼いて幼稚園に持っていったようです。

その日の夜は家でパーティです。もう一つ焼いてあった大きな蝶々の形のケーキに口ウソクを五本立て、「ハッピーバースデー」の歌を歌って口ウソクを消すのは日本と同じ



でした。でもそこからが違います。ケーキの食べさせ合いです。特に主役にケーキを食べさせたり、食べさせてもらったりします。これはお祝い事ではよく見かける光景です。私としてはちよつと抵抗があります。ケーキはまだい

スポーツライオン

スポーツクラブ21比也野 会長 生田 弘之



「スポーツクラブ21比也野」設立に思う

この度「スポーツクラブ21比也野」の設立に伴い、会長を拝命いたしました生田です。どうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県の推進事業により誕生したこのスポーツクラブは、子供から高齢者までスポーツを楽しむながら体力を増強し、一方で精神力の修養にもなると思えます。

また現在スポーツ活動をさ

れている方も、年齢層が単一代を超えての交流が少ないように感じられます。そのような中でスポーツクラブに入会し、ルールやマナーを大切に守り、より良いコミュニケーションづくりの場として、人とのふれあい「のなかで地域社会に芽生え、地域に根ざしたクラブとして活動を続けることが大切だと思います。そのことが同時に健康で連帯感あふれる「元気なまち比也野」づくりの活性化剤となると強く信じております。比延地区にお住まいの方なら、どなたでも気軽に入会してもらって、ともに楽しみながらこのスポーツクラブを育てあげたいと思います。終わりにあたり、関係の皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

比也野里日程

- 七月 四日 市内総合体育大会(中学)
- 七月 五日 七夕祭り(比幼)
- 七月十四日 比延地区球技大会(子供会)
- 七月十九日 終業式(東中・比双小・比双幼)
- 七月二十七日 参観日(比保)
- 八月十二日 住吉町夏祭り
- 八月十六日 堀町・高嶋町盆踊り
- 八月十九日 愛園作業(比小・比幼)
- 八月二十四日 奉仕作業(東中)
- 八月二十四日 鹿野町盆踊り
- 八月十七日 中畑町盆踊り
- 八月十七日 上比延町盆踊り
- 八月十七、十八日 西脇夏祭り
- 八月二十四日 比延町盆踊り

「生田製パン所」は、初代「新次さん」が昭和三年に創立。ご主人の「一成さん」が二代目で、息子の「功さん」が三代目を継承。

お店をたずねて 上比延町 生田製パン所

「おいしいパンを作る」をモットーに家族で頑張ってきた。これからは、学校給食のパンと米飯を主に作られています。

「昔は小学生が工場見学に来ていたんです」と懐かしく話されました。

「早朝六時から働き休めない仕事なので、特に体調には留意し毎日気合いを入れてパン作りをしています。学校へ

楽しんでます ゲートボールクラブ鹿野チーム

毎月、持ち廻りで比延地区大会をしています。年内には、多可・西脇の大会と西脇市の大会に参加します。また、天理教主催の全国大会もあります。これには比延地区の希望者が参加します。九州から

パンを配達する時に子供達に出会うと、子供達の若いエネルギーをもらったような気がしてうれしくなるんです」と言われたご主人の言葉に感動しました。最近、新しいパン焼き機械を購入されたそうです。これからも、子供達の喜ぶおいしいパンを作り続けてください。



北海道まで、色々な所から出場されている方々との交流もなかなか楽しいものです。

ゲートボールを始めて十四年、一チーム五名で対戦しますが、こんなにおもしろいことはありません。皆さんも御一緒にいかがですか？

(出口さん 談)



歴史探訪

「今日はあしたの歴史を作っている」
トライヤル・ウィーク 住吉町 絹川 康臣

朝九時前、中学生二人が元氣よく仕事場に入ってきた。同じ町内に住みながらお互い見たことがない、いや見ても意識したことがないのである。背の高さは、と尋ねると一六二cmと一四六cmという。おじさんは一三七cmだったと答えると「え！」と不思議そうに顔をみだ。

今から六十年前、この子らと同じ年、戦争中何かがどうなるのか先のわからない時代であった。先生から、日本の人口は一億に足らない、面積は最小、資源は少なく輸入のほうが多い国と教えられていた。

中国は四億人、アメリカは

一億三千万人、国土は比べようがない。どう考えても戦争に勝てると思えなかった。



かつたし、こんなことを人に話すことではないと子供ながら気をつけていた。

今、聞く日本が米国に開戦を唱えたその日、心ある政治家が集って、「さあ大変だ、日本は必ず負ける、どんな負け方をすべきか？」と相談をしたという。にもかかわらず国民は日の丸の旗を振って出征兵を送り出していた。

今私の前にいる子供らが、あの時代では数年後に戦地に赴くことになる、考えたらふと目頭が熱くなってきた。その時、取材に回ってきた同じ中学の女生徒にマイクを向けられ、気がついて声が潤んだ。

午前中の休憩時、子供に「長い将来、百人の人からちやほやされて喜ぶより、まじめな

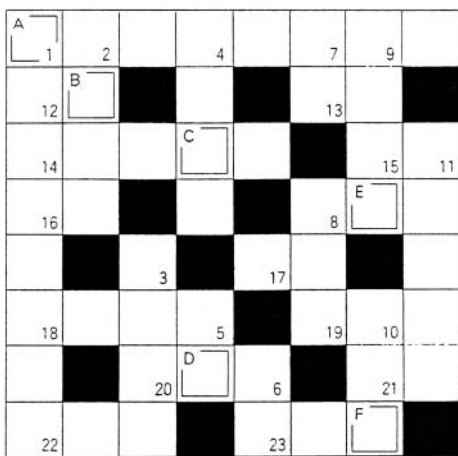
ちよと一考

〈タテのカギ〉

- 1 水に溶かして使う塗料
- 2 燃料を爆発、燃焼させて噴出し、推力を得る装置
- 3 ゴム底の丈夫な足袋
- 4 すもうなどの判定で異義を唱えること
- 5 ぐアウト
- 6 スプーン
- 7 猪、〇〇、蝶
- 8 資金を融通すること
- 9 大学への受験指導を行う教育施設
- 10 毎日する定まりの仕事
- 11 話の筋をもった散文体の作品

〈ヨコのカギ〉

- 1 変速度撮影で動きをゆっくり見せること
- 2 実行の日時を延ばすこと
- 3 ある程度の広さと深さで、水のたまる場所
- 4 飲食物などに生ずる菌類
- 5 建築工事の計画図面
- 6 一度使って不用となった紙
- 7 繊維を細長くし、よりをかけたもの
- 8 寺院に建てた多層の建物
- 9 海に面すること
- 10 老舗
- 11 探りを入れて調べること
- 12 円く長く、中がから
- 13 雲間や薄い雲を通して
- 14 自身の生まれた家



■AからFまでの文字をつなげると...

解答の言葉と住所・氏名を書いて葉書で応募下さい。切は、7月31日。抽選で5名様に、素敵な記念品をプレゼント。送り先 西脇市野村町 西脇郵便局私書箱40号 前号クイズ正解「ハンマーナゲ」当選者

比延町 勝岡 一美さん
中畑町 菅野 啓介さん
比延町 古谷 芳則さん
上比延町 藤井 都子さん
中畑町 金田 早恵さん
お詫び
二十五号と二十六号のクイズが同じでした。

赤ちゃん誕生

一人の人の意見を大切にすべし」と、私の思いを伝えた。五日間の日課は予定通り完了し、生徒も私もお互いホッとして笑顔で別れた。

大内那奈美(ななみ)ちゃん
二〇〇二年五月二十五日
午後一時三十三分に誕生

中畑町 大内 仁志さん
明子さんの次女

両親から一言「周囲の人が、その笑顔で癒されていくそんな女の子になつてほしい」とおっしゃっていました。



編集後記

「あるいて比也野」は二ヶ月に一回発行しています。これから地域紹介等皆さんに親しまれる広報誌づくりに頑張ります。

広報部担当のスタッフを紹介いたします。小林哲巳(比延町)・藤井琢己(上比延町)・絹川武史(住吉町)・岸本弘行(鹿野町)・藤本裕子(鹿野町)・竹中瑞穂(鹿野町)・村井正信(鹿野町)・小谷佳余(堀町)・片浦敏明(堀町)以上九名です。地域の情報なら何でも結構ですスタッフまでお寄せください。

K